



**LCC News Letter 11.**  
**17 January 2010 LCC広報担当**

昨年11月26日(金)、同志社大学京町家キャンパス江湖館に於いて「第2回LCCソーシャル・イノベーションセミナー」が開催され、同志社大学政策学部今里教授の講演をLCC会員20数名が拝聴しました。



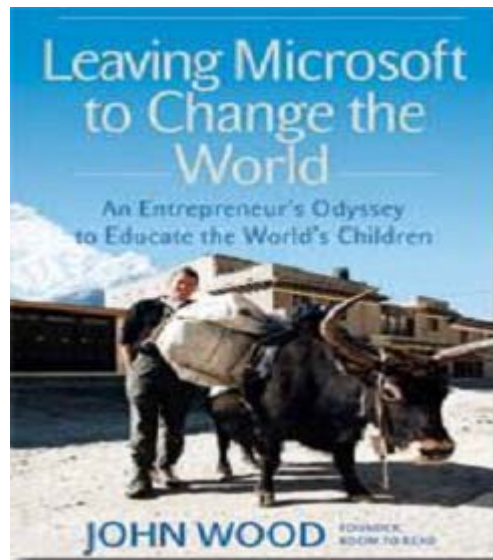
2009/4/11 ダイヤモンド誌

教授はダイヤモンド雑誌のスライドを示され社会起業家について語られました。私はバックナンバー誌を取り寄せ20名の「世界のスーパー社会起業家」を大変興味をもって目を通しました。

ノーベル平和賞受賞のバングラデシュのムハメド・ユヌス(グラミン銀行総裁)、ビル・ドレイトン(アショカ財団創設者)に加え、同志社商学部卒業の**栃迫篤昌氏**が掲載されています。誇らしい思いです。

栃迫篤昌氏は、**明後日1月19日(水)**新都ホテルで基調講演されます。詳しくは**LCC News Letter (9)**をご覧ください。

他に目をひく人物としてキャサリン・チョン(Katherine Chon)を挙げます。ボストン近郊で同郷の韓国人女性が売春容疑で逮捕されたのを機に、売春を強いられる女性を保護するための24時間・多言語ホットラインや被害者を匿うシェルターを設置し「Polaris Project」を立ち上げ活躍中の若き女性です。あと一人、米国人ジョン・ウッドをご紹介します。



**Room to Read's John Wood: Bringing the Power of Education to children around the World**

マイクロソフトのエグゼクティブというキャリアを投げうって、途上国での教育支援をする社会起業家へと転進したジョン・ウッド(John Wood)。まさに**Leaving Microsoft to Change the World**の言葉通り、途上国の子供たちに、「教育」という贈り物を届けたいと、1999年末、NGO「ルーム・トゥ・リード(RTR)」を設立しました。

2008年12月31日現在、7,040の図書館および図書室を開設、また、765校の学校をも建設しました。その恩恵を受けた子供たちの数は約310万人に上ります。2008年には、実に4時間に1カ所図書館を、1.5日に1校の学校を新設した計算になります。そして、わずか10年の間にこれだけの規模にまで拡大できたのは、ケログやマイクロソフトでビジネスを学んだ経営手腕が生かされたからです。世界のスーパー社会起業家の一人です。

(文責:北出 至)